

平成30年度
事業概要
Business Overview



発行所

愛知県赤十字血液センター
〒489-8555 愛知県瀬戸市南山口町539-3
TEL 0561-84-1131
<https://www.bs.jrc.or.jp/tkhr/aichi/>



JAPANESE RED CROSS AICHI BLOOD CENTER
539-3 Minamiyamaguchi-cho Seto, AICHI JAPAN zip489-8555

令和元年9月30日発行



本誌は、再生紙を使用しております。



日本赤十字社

愛知県赤十字血液センター

ごあいさつ



愛知県の血液事業の推進につきましては、平素より県民の皆様をはじめ、愛知県、市町村、各献血協力団体および医療機関等の関係各位のご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。この度、平成30年度の愛知県赤十字血液センターの事業概要を取りまとめましたので、ご報告申し上げます。

平成30年度には愛知県内では延べ270,811人の方に献血にご協力をいただきました。愛知県赤十字血液センターが担う輸血用血液製剤の供給については、平成25年度から愛知県と岐阜県の県境をまたいだ相互供給体制を敷いており、たとえば岐阜県多治見市などには愛知県赤十字血液センターから供給する一方、愛知県一宮市などには岐阜県赤十字血液センターから供給しています。供給量については医療機関への総供給単位数は865,083単位と全国動向と同様に微減傾向となっておりますが、平成30年度も輸血用血液製剤を各医療機関へ安定して供給できたものと考えております。

平成30年度の取り組みとして、1年に2回以上定期的な献血にご協力いただくことを目的として平成18年度に日本赤十字社が開設した複数回献血クラブのシステムを刷新しました。これは献血者へのサービス向上を目的としたもので、その愛称名を「ラブラッド」に統一しました。ラブラッドの会員サイトでは献血者がご自身のパソコンやスマートフォンから全国すべての献血ルームを予約することが可能になりました。また、血液の検査結果等を含む献血記録をオンラインでいち早く確認できるとともに、その数値をわかりやすくグラフ化して閲覧できるようになるなど、献血にご協力いただく方々の利便性の向上を図りました。さらにメールやLINEで会員限定のお知らせをお届けするとともに、献血への協力依頼を行うことができるようになりました。

日本赤十字社の平成26年度の推計では高齢者の増加で医療需要が増えるため、今後の献血者の不足が予測されていましたが、平成29年度に輸血用血液製剤の供給量が多い医療機関を対象にアンケート調査を行い、この結果を踏まえて将来需要予測の再検討を行った結果、大幅な献血者不足は避けられる見通しとなりました。しかしながら、少子高齢化による献血可能人口の減少は確実と予測されます。今後も安全な輸血用血液製剤を安定して患者さんにお届けするために、各献血協力団体などとともに普及啓発活動に積極的に取り組んでまいります。特に将来の献血を担っていただける若年層の方々への献血啓発に努力するとともに、小学生、中学生を対象とした血液センターの見学会や親子血液教室の開催などを通じて献血啓発活動を推進して若年層献血者の増加に努めています。

愛知県赤十字血液センターでは今後も安全な輸血用血液製剤の効率的な安定供給に努めてまいります。今後も皆様方の一層のご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和元年9月
愛知県赤十字血液センター
所長 木下 朝博



01 概要

Outline

事業内容	Main Activities	3
血液事業のながれ	Flow of Blood Services	4
血液のゆくえ/血液製剤一覧	Flow of Blood Products / List of Blood Products	5
献血バス	Blood Donation Bus	7
献血ルーム	Blood Donation Room	8
施設	Facilities	9
供給業務	Distribution	11
広域需給体制に伴う 県境を越える供給	Supplying across prefectural boundaries due to wide-area supply and demand regime	12
平成30年度医薬情報活動	Pharmaceutical information activities	13
骨髄バンク事業	Marrow Donor Program	14
広報活動	Public Relations	15

02 組織

Organization

組織機構図	Organization Chart	17
愛知県赤十字血液センター	Japanese Red Cross Aichi Blood Center	18
愛知県赤十字血液センター 豊橋事業所	Japanese Red Cross Aichi Blood Center Toyohashi Branch	18

03 活動実績

Actual result

沿革	History	19
平成30年度日誌	Diary	21
統計資料	Statistical Data	23
献血功労表彰	Recognition	27
複数回献血クラブ	Multiple blood donation club	29

04 全国の血液センター

Blood Centers in Japan

概要

日本赤十字社の血液事業の一環として献血を推進し、輸血用血液の安定確保と供給などを行い、人命尊重に向けて多様な事業を展開しています。

血液を通して、人と人とを結んでいます。

血液センターでは、現代医療に欠かせない輸血用血液製剤の供給をはじめ、血液に関するさまざまな事業を行っています。血液を通して大切な命を守り、人と人とを結ぶ架け橋として日夜努めています。

事業内容 Main Activities

目的と基本理念
安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律(抜粋)(平成25年12月13日改正)

総則(目的)

第一条 この法律は、血液製剤の安全性の向上、安定供給の確保及び適正な使用の推進のために必要な措置を講ずるとともに、人の血液の利用の適正及び献血者等の保護を図るために必要な規制を行うことにより、国民の保健衛生の向上に資することを目的とする。

(基本理念)

- 第三条 血液製剤は、その原料である血液の特性にかんがみ、その安全性の向上に常に配慮して、製造され、供給され、又は使用されなければならない。
- 血液製剤は、国内自給(国内で使用される血液製剤が原則として国内で行われる献血により得られた血液を原料として製造されることをいう。以下同じ。)が確保されることを基本とするとともに、安定的に供給されるようにしなければならない。
 - 血液製剤は、献血により得られる血液を原料とする貴重なものであること、及びその原料である血液の特性にかんがみ、適正に使用されなければならない。
 - 国、地方公共団体その他の関係者は、この法律に基づく施策の策定及び実施に当たっては、公正の確保及び透明性の向上が図られるよう努めなければならない。

業務

日本赤十字社血液センター規則第3条-2により次の事業を行う。

- 献血者の確保及び献血の受入れ
- 血液製剤の供給
- その他血液事業本部長が必要と認めた事業

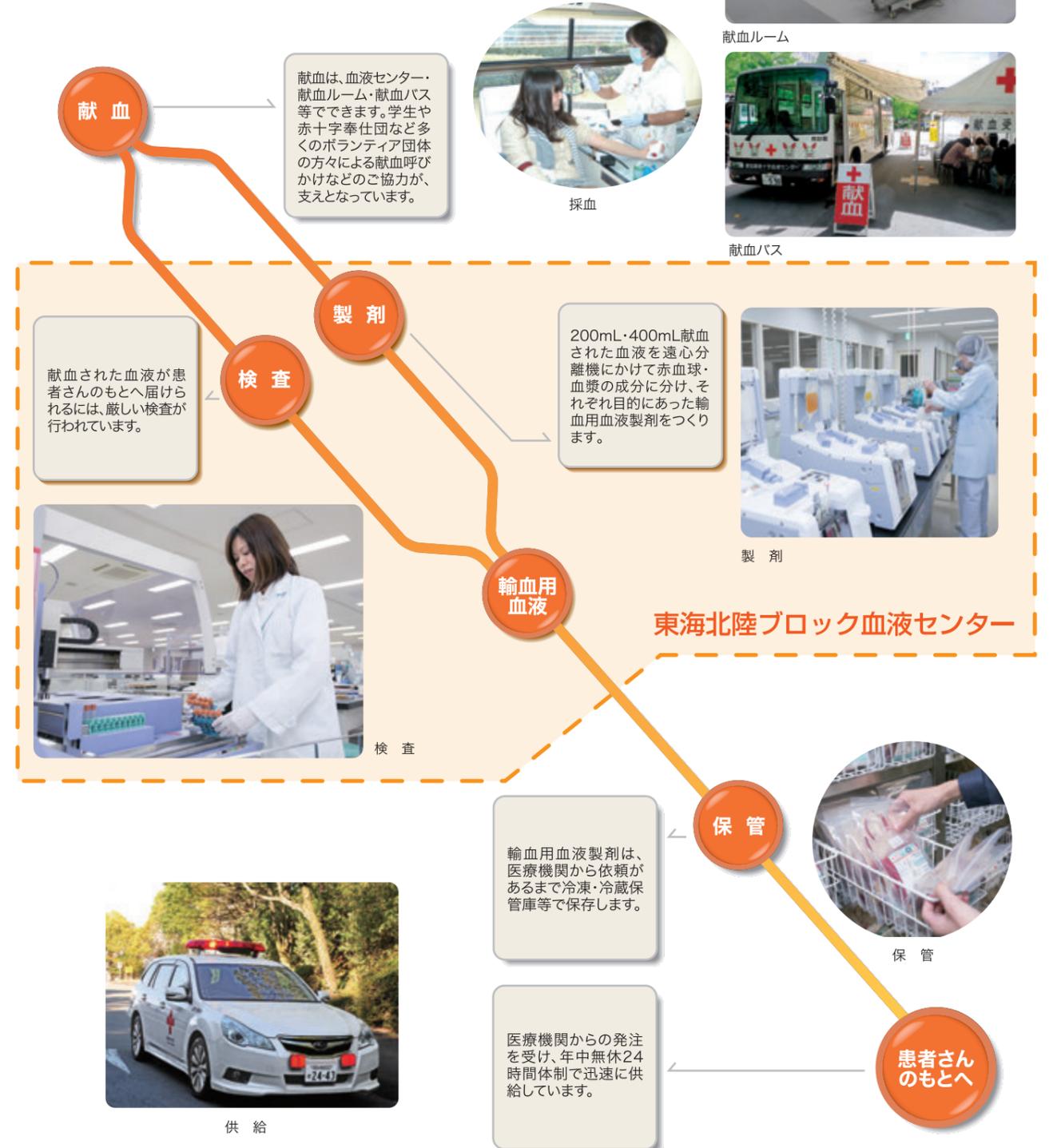
関連事業

- ・骨髄バンク事業
- ・さい帯血バンク事業

安全性の高い輸血用血液製剤の安定供給に向けて。

善意の献血で得られた血液は、厳しい検査をはじめいくつもの工程を経て、輸血用血液製剤として生まれ変わります。私たちは、人命尊重のためにこの安全性の高い輸血用血液製剤を医療機関に安定供給することを心がけ、24時間体制で医療を支えています。

血液事業のながれ Flow of Blood Services



献血ルーム



献血バス



製剤



検査



保管



供給

みなさまの善意に、よりお応えするために。

献血していただいた血液は、輸血用血液製剤【全血・血液成分(赤血球、血漿、血小板)】として医療に使われています。血液を必要としている患者さんにとって、安全性の高い血液を安定的にお届けするためには、健康なみなさまによる献血のご協力が必要です。

血液のゆくえ Flow of Blood Products



医療機関のニーズに合わせた血液製剤。

血液から作られる血液製剤は、輸血用血液として医療機関のニーズに合わせて、さらに細かく分類され、患者さんの生命を守っています。

血液製剤一覧 List of Blood Products

輸血用血液製剤

規制区分：特定生物由来製品、処方せん医薬品(医師等の処方せんにより使用すること) 採血国「日本」、採血の区別「献血」

販売名(一般名*)	略号	効能又は効果	貯法	有効期間	用法及び用量	組成・性状(概要)	包装
人全血液-LR「日赤」* Ⓜ(人全血液)	WB-LR	一般の輸血適応症に用いる。	2~6	採血後 21日間	ろ過装置を具備した輸血用器具を用いて、静脈内に必要量を輸注する。	[共通] 血液保存液(CPD液)を28mL又は56mL混合したヒト血液200mL又は400mLから白血球の大部分を除去した濃赤色の液剤。静置するとき、赤血球の沈層と黄色の液層とに分かれる。液層は、脂肪により混濁することがあり、また、ヘモグロビンによる弱い着色を認めることがある。	血液200mLに由来する血液量1袋
照射人全血液-LR「日赤」* Ⓜ(人全血液)	Ir-WB-LR					[Ir-WB-LRのみ] 輸血による移植片対宿主病(GVHDgraft versus host disease)を予防する目的で、15Gy以上50Gy以下の放射線が照射されており、放射線を照射しない製剤よりも保存に伴い上清中のカリウム濃度が増加することが認められる。	血液400mLに由来する血液量1袋
赤血球液-LR「日赤」* (人赤血球液)	RBC-LR	血中赤血球不足又はその機能廃絶に適する。	2~6	採血後 21日間	ろ過装置を具備した輸血用器具を用いて、静脈内に必要量を輸注する。	[共通] 血液保存液(CPD液)を28mL又は56mL混合したヒト血液200mL又は400mLから白血球及び血漿の大部分を除去した赤血球層に赤血球保存用添加液(MAP液)をそれぞれ約46mL、約92mL混和した濃赤色の液剤。静置するとき、主として赤血球からなる沈層と無色の液層とに分かれる。液層はヘモグロビンによる着色を認めることがある。	血液200mLに由来する赤血球1袋
照射赤血球液-LR「日赤」* (人赤血球液)	Ir-RBC-LR					[Ir-RBC-LRのみ] 輸血による移植片対宿主病(GVHDgraft versus host disease)を予防する目的で、15Gy以上50Gy以下の放射線が照射されており、放射線を照射しない製剤よりも保存に伴い上清中のカリウム濃度が増加することが認められる。	血液400mLに由来する赤血球1袋
洗浄赤血球液-LR「日赤」* (洗浄人赤血球浮遊液)	WRC-LR	貧血症又は血漿成分などによる副作用を避ける場合の輸血に用いる。	2~6	製造後 48時間	ろ過装置を具備した輸血用器具を用いて、静脈内に必要量を輸注する。	[共通] ヒト血液200mL又は400mLから白血球及び血漿の大部分を除去した後、生理食塩液で洗浄した赤血球層に、生理食塩液をそれぞれ約45mL、約90mL加えた濃赤色の液剤。静置するとき、主として赤血球からなる沈層と澄明な液層に分かれ、液層はヘモグロビンによる弱い着色を認めることがある。また、上清中のカリウム濃度は、保存に伴い増加することが認められる。	血液200mLに由来する赤血球1袋
照射洗浄赤血球液-LR「日赤」* (洗浄人赤血球浮遊液)	Ir-WRC-LR					[Ir-WRC-LRのみ] 輸血による移植片対宿主病(GVHDgraft versus host disease)を予防する目的で、15Gy以上50Gy以下の放射線が照射されている。	血液400mLに由来する赤血球1袋

販売名(一般名*)	略号	効能又は効果	貯法	有効期間	用法及び用量	組成・性状(概要)	包装
解凍赤血球液-LR「日赤」* (解凍人赤血球濃厚液)	FTRC-LR	貧血又は赤血球の機能低下に用いる。	2~6	製造後 4日間	ろ過装置を具備した輸血用器具を用いて、静脈内に必要量を輸注する。	[共通] ヒト血液200mL又は400mLから白血球及び血漿の大部分を除去した赤血球層に凍害保護液を加えて凍結保存したものを解凍後、凍害保護液を洗浄除去し、赤血球保存用添加液(MAP液)をそれぞれ約46mL、約92mL混和した濃赤色の液剤。静置するとき、主として赤血球からなる沈層と澄明な液層とに分かれる。液層はヘモグロビンによる着色を認めることがある。また、上清中のカリウム濃度は、保存に伴い増加することが認められる。	血液200mLに由来する赤血球1袋
照射解凍赤血球液-LR「日赤」* (解凍人赤血球濃厚液)	Ir-FTRC-LR					[Ir-FTRC-LRのみ] 輸血による移植片対宿主病(GVHDgraft versus host disease)を予防する目的で、15Gy以上50Gy以下の放射線が照射されている。	血液400mLに由来する赤血球1袋
合成血液-LR「日赤」* *	BET-LR	ABO血液型不適合による新生児溶血性疾患に用いる。	2~6	製造後 48時間	ろ過装置を具備した輸血用器具を用いて、静脈内に必要量を輸注する。	[共通] ヒト血液200mL又は400mLから白血球及び血漿の大部分を除去し、洗浄したO型の赤血球層に、白血球の大部分を除去したA型B型のヒト血漿を約60mL又は約120mL加えた濃赤色の液剤。静置するとき、赤血球の沈層と黄色の液層とに分かれる。液層は脂肪により混濁することがあり、ヘモグロビンによる弱い着色を認めることがある。また、上清中のカリウム濃度は、保存に伴い増加することが認められる。	血液200mLに由来する赤血球に血漿約60mLを混和した血液1袋
照射合成血液-LR「日赤」* *	Ir-BET-LR					[Ir-BET-LRのみ] 輸血による移植片対宿主病(GVHDgraft versus host disease)を予防する目的で、15Gy以上50Gy以下の放射線が照射されている。	血液400mLに由来する赤血球に血漿約120mLを混和した血液1袋
新鮮凍結血漿-LR「日赤」120* (新鮮凍結人血漿)	FFP-LR120	1.血液凝固因子の補充 (1)複合性凝固障害で、出血、出血傾向のある患者又は手術を行う患者 (2)血液凝固因子の減少症又は欠乏症における出血時で、特定の血液凝固因子製剤がないか又は血液凝固因子が特定できない場合	~20	採血後 1年間	容器のまま30~37℃で融解し、融解後3時間以内のろ過装置を具備した輸血用器具を用いて、静脈内に必要量を輸注する。通常、使用量は1日200~400mL、重篤(ショック、敗血症など)の場合は800mLまでを基準とする。ただし、年齢及び症状に応じて適宜増減する。	血液保存液(CPD液)を28mL又は56mL混合したヒト血液200mL又は400mLから白血球の大部分を除去し分離した新鮮な血漿を凍結したもので、融解するとき、黄色ないし黄褐色の液剤となり、脂肪により混濁することがある。	血液200mL相当に由来する血漿1袋
新鮮凍結血漿-LR「日赤」240* (新鮮凍結人血漿)	FFP-LR240					400mL由来の本剤には、約0.9g(38mEq)のナトリウムが含まれている。	血液400mL相当に由来する血漿1袋
新鮮凍結血漿-LR「日赤」480* (新鮮凍結人血漿)	FFP-LR-480					血液成分採血により白血球の大部分を除去して採取した新鮮な血漿を凍結したもので、融解するとき、黄色ないし黄褐色の液剤となり、脂肪により混濁することがある。本剤1袋中には、約1.6g(71mEq)のナトリウムが含まれている。	480mL 1袋
濃厚血小板-LR「日赤」* (人血小板濃厚液)	PC-LR	血小板減少症を伴う疾患に適応する。	20~24 要・振とう	採血後 4日間	ろ過装置を具備した輸血用器具を用いて、静脈内に必要量を輸注する。	[共通] 血漿に浮遊した血小板で、血液成分採血により白血球の大部分を除去して採取した黄色ないし黄褐色の液剤。脂肪により混濁することがある。	1単位 約 20mL 1袋 2単位 約 40mL 1袋 5単位 約 100mL 1袋
照射濃厚血小板-LR「日赤」* (人血小板濃厚液)	Ir-PC-LR					[Ir-PC-LRのみ] 輸血による移植片対宿主病(GVHDgraft versus host disease)を予防する目的で、15Gy以上50Gy以下の放射線が照射されている。	10単位 約200mL 1袋 15単位 約250mL 1袋 20単位 約250mL 1袋
濃厚血小板HLA-LR「日赤」* (人血小板濃厚液)	PC-HLA-LR	血小板減少症を伴う疾患で、抗HLA抗体を有するため通常の血小板製剤では効果がみられない場合に適応する。	20~24 要・振とう	採血後 4日間	ろ過装置を具備した輸血用器具を用いて、静脈内に必要量を輸注する。	[共通] 血漿に浮遊した血小板で、患者のHLA型に適合する(供血者のリンパ球と患者の血清との交差試験に適合する)献血者から血液成分採血により白血球の大部分を除去して採取した黄色ないし黄褐色の液剤。脂肪により混濁することがある。	10単位 約200mL 1袋 15単位 約250mL 1袋
照射濃厚血小板HLA-LR「日赤」* (人血小板濃厚液)	Ir-PC-HLA-LR					[Ir-PC-HLA-LRのみ] 輸血による移植片対宿主病(GVHDgraft versus host disease)を予防する目的で、15Gy以上50Gy以下の放射線が照射されている。	15単位 約250mL 1袋 20単位 約250mL 1袋
照射洗浄血小板-LR「日赤」* (人血小板濃厚液)	Ir-WPC-LR	血小板減少症を伴う疾患に適応する。	20~24 要・振とう	製造後 48時間 (ただし、採血後 4日間を 越えない)	ろ過装置を具備した輸血用器具を用いて、静脈内に必要量を輸注する。	[Ir-WPC-LR] 血液成分採血により白血球の大部分を除去して採取した血小板濃厚液を、血小板保存液 ^注 で洗浄し血漿の大部分を除去した後、同液に浮遊させた白色ないし黄白色の液剤。	10単位 約200mL 1袋
照射洗浄血小板HLA-LR「日赤」* (人血小板濃厚液)	Ir-WPC-HLA-LR					[Ir-WPC-HLA-LR] 患者のHLA型に適合する(供血者のリンパ球と患者の血清との交差試験に適合する)献血者から血液成分採血により白血球の大部分を除去して採取した血小板濃厚液を、血小板保存液 ^注 で洗浄し血漿の大部分を除去した後、同液に浮遊させた白色ないし黄白色の液剤。	[共通] 輸血による移植片対宿主病(GVHDgraft versus host disease)を予防する目的で、15Gy以上50Gy以下の放射線が照射されている。

*1: 人全血液の一般名は日本薬局方及び生物学的製剤基準記載名、それ以外の製剤の一般名は生物学的製剤基準記載名
*2: 薬価基準記載名

ひとりでも多くの方のご協力をいただけるように。

愛知県内の様々な場所で献血バス・オープン献血を通じて、多くの方々に献血のお願いをしています。また、駅周辺や商店街など、交通の便のよい場所に献血ルームを設け、献血いただく方が快適で、安心して献血が出来る環境を整えています。

□ 献血バス Blood Donation Bus



■献血バス

献血バスは愛知県赤十字血液センターに8台、豊橋事業所に3台あり、本年度は1日平均5.2台稼働しています。また、献血にご協力いただいている団体の一部施設を利用して行く、オープン献血も実施しております。献血バス1台に4ベッドありますが、オープン献血の場合は会場のスペースによって4~15ベッド設置して採血をします。

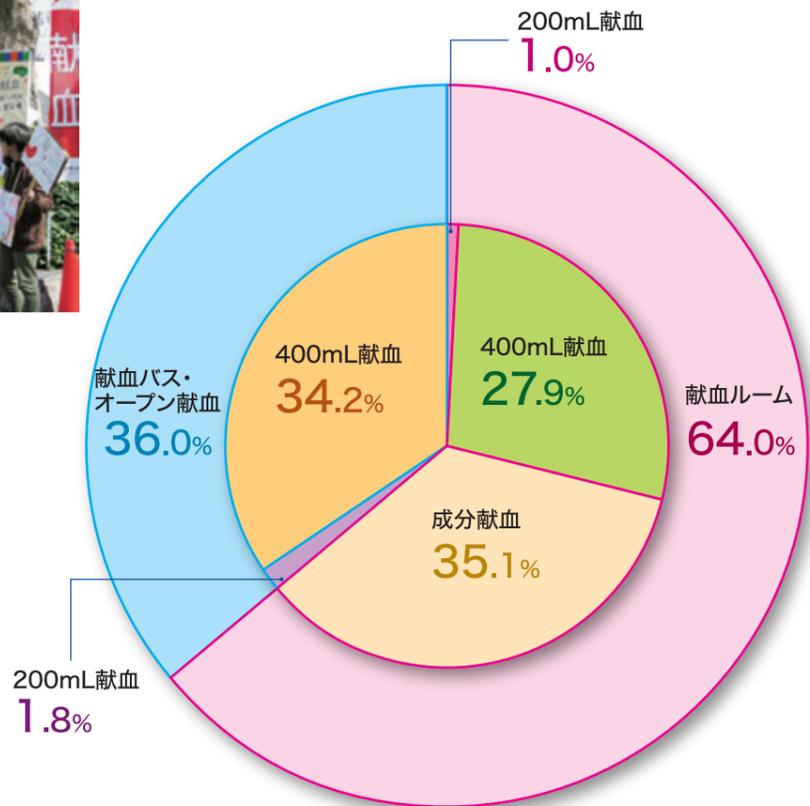
【平成30年度 献血実績】
 献血バス 総稼働数 **1,911** 稼働(1日平均5.2稼働)
 オープン献血 総稼働数 **110** 稼働
 一台バス 平均献血者 **47** 名
 オープン献血 平均献血者 **72** 名



■呼びかけの風景



■オープン献血



献血ルーム&献血バス・オープン献血の採血割合

□ 献血ルーム Blood Donation Room

愛知県内には血液センターをはじめ豊橋事業所並びに6カ所の献血ルームがあります。献血ルームでは無料の自動販売機で飲料水を提供し、お菓子なども用意しております。平成29年4月に金山献血ルーム・刈谷献血ルームが閉所となり、同月20日に名古屋駅JRゲートタワーの26階に献血ルーム ゲートタワー26が拡張オープンしました。



■献血ルーム(献血ルーム タワーズ20)



■受付(栄献血ルーム)



■採血室(献血ルーム ゲートタワー26)

施設別採血種別献血者数の推移

施設名	愛知県赤十字血液センター	豊橋事業所	献血ルームタワーズ20	献血ルームゲートタワー26	栄献血ルーム	金山献血ルーム	大須万松寺献血ルーム	豊田献血ルーム	刈谷献血ルーム	岡崎献血ルーム	移動献血バス+オープン	
200mL	平成30年度	40	76	618	428	570	589	277	147	4,838		
	平成29年度	33	47	514	351	526	3	390	186	8	145	5,440
	平成28年度	15	28	585	244	136	50	157	67	75	6,718	
400mL	平成30年度	2,203	3,318	22,594	14,025	10,813	13,955	5,242	3,308	92,614		
	平成29年度	2,075	3,508	22,138	13,870	10,593	309	14,177	5,382	158	3,464	93,531
	平成28年度	2,151	3,543	23,204	9,534	8,393	14,295	5,393	3,788	3,060	95,529	
血漿	平成30年度	2,660	3,103	20,744	12,599	12,881	1,298	5,076	4,473	0		
	平成29年度	2,486	3,578	21,130	12,230	12,522	273	1,216	5,542	169	4,815	0
	平成28年度	1,996	3,164	21,440	10,168	5,984	1,174	5,555	3,827	3,976	0	
血小板	平成30年度	1,769	3,002	9,681	3,736	6,220	522	3,871	3,521	0		
	平成29年度	1,459	2,753	9,267	4,025	6,504	181	332	3,434	163	3,297	0
	平成28年度	1,626	2,918	13,018	6,610	3,632	498	3,450	2,884	3,034	0	
合計	平成30年度	6,672	9,499	53,637	30,788	30,484	16,364	14,466	11,449	97,452		
	平成29年度	6,053	9,886	53,049	30,476	30,145	766	16,115	14,544	498	11,721	98,971
	平成28年度	5,788	9,653	58,247	26,556	18,145	16,017	14,555	10,566	10,145	102,247	

※金山献血ルーム・刈谷献血ルームは平成29年4月に閉所

(A)

Outline

献血はお近くの施設でお気軽に。

愛知県内の献血施設8カ所は、どの施設も交通アクセス、周辺環境に恵まれています。献血はあなたの街の最寄りの施設へお気軽にお越しください。最新の情報は、ホームページでご確認ください。

施設 Facilities (平成31年3月31日現在)

愛知県赤十字血液センター

〒489-8555 瀬戸市南山口町539-3
 〈TEL〉0561(84)1131 〈定休日〉毎週土曜日、日曜日、祝日、12/29~1/3
 〈献血受付時間〉400mL・200mL献血…9:00~12:00、13:00~16:45
 成分献血…9:00~11:00、13:00~16:00



栄献血ルーム
(栄出張所)

大須万松寺献血ルーム
(大須出張所)

献血ルーム Towers 20
(名古屋駅前出張所)

献血ルーム ゲートタワー 26
(名古屋駅前出張所)

愛知県赤十字血液センター

豊田献血ルーム
(豊田出張所)

岡崎献血ルーム
(岡崎出張所)

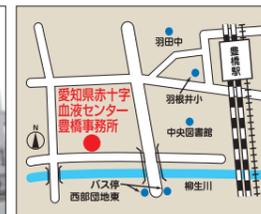
愛知県赤十字血液センター 豊橋事業所

愛知県

管内面積/5,169.43km² (愛知県統計年鑑H31.3.27 現在)
 管内人口/7,541,887人 (愛知県人口動向調査 H31.3.1 現在)
 市町村数/38市14町2村 (H31.3.31 現在)

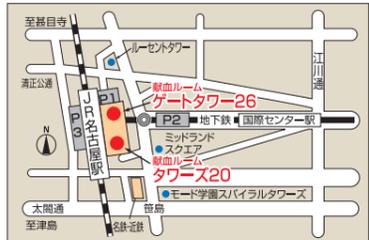
愛知県赤十字血液センター 豊橋事業所

〒441-8083 豊橋市東脇3-4-1
 〈TEL〉0532(32)1331 〈定休日〉毎週日曜日、祝日、12/29~1/3
 〈献血受付時間〉400mL・200mL献血…9:00~12:00、13:00~16:45
 成分献血…9:00~11:00、13:00~16:00



献血ルーム Towers 20

〒450-6020 名古屋市中村区名駅一丁目1番4号 JRセントラルタワー20階
 〈TEL〉052(571)1002 〈定休日〉12/29~1/3
 〈献血受付時間〉400mL・200mL献血…10:00~17:45
 成分献血…10:00~17:00
 ※土曜日は16:00までとなります。



献血ルーム ゲートタワー 26

〒450-6626 名古屋市中村区名駅一丁目1番3号 JRゲートタワー26階
 〈TEL〉052(589)2229 〈定休日〉12/29~1/3
 〈献血受付時間〉400mL・200mL献血…11:00~18:45
 成分献血…11:00~18:00
 ※土曜日は17:00までとなります。



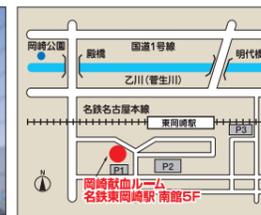
豊田献血ルーム

〒471-8520 豊田市若宮町1-57-1 A館 T-FACE 9F
 〈TEL〉0565(35)4480 〈定休日〉毎週火曜日、12/29~1/3
 〈献血受付時間〉400mL・200mL献血…10:00~13:00、14:00~17:45
 成分献血…10:00~12:00、14:00~17:00
 ※土曜日は16:00までとなります。



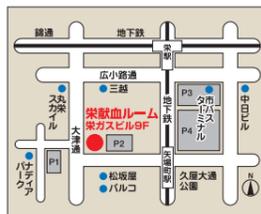
岡崎献血ルーム

〒444-0864 岡崎市明大寺町字寺東1-1 名鉄東岡崎駅南館 5F
 〈TEL〉0564(52)1800 〈定休日〉毎週金曜日、12/29~1/3
 〈献血受付時間〉400mL・200mL献血…10:00~13:00、14:00~17:45
 成分献血…10:00~12:00、14:00~17:00
 ※土曜日は16:00までとなります。



栄献血ルーム

〒460-0008 名古屋市中区栄3-15-33 栄ガスビル9F
 〈TEL〉052(242)7030 〈定休日〉12/29~1/3
 〈献血受付時間〉400mL・200mL献血…10:00~17:45
 成分献血…10:00~17:00
 ※土曜日は16:00までとなります。



大須万松寺献血ルーム

〒460-0011 名古屋市中区大須3-30-40 万松寺ビル1F
 〈TEL〉052(251)7161 〈定休日〉12/29~1/3
 〈献血受付時間〉400mL・200mL献血…11:00~13:00、14:00~18:45
 11:00~18:45(土・日・祝日)
 成分献血(平日のみ)…11:00~12:00、14:00~18:00



平成30年度献血ルーム詳細情報 (平成31年3月末時点)

	ベッド数(床)	面積(m ²)	開設日
愛知県赤十字血液センター	6		S62.3
豊橋事業所	9		H2.3
献血ルーム Towers 20	28	951.84	H23.10
献血ルーム ゲートタワー 26	18	525.72	H29.4
栄献血ルーム	18	447	H2.6
大須万松寺献血ルーム	5	179.76	H18.10
豊田献血ルーム	10	246.095	H9.4
岡崎献血ルーム	9	263.56	H15.5

輸血用血液製剤の迅速な供給に努めています。

□ 供給業務 Distribution

24時間365日、医療機関からの要請に対し、迅速に輸血用血液製剤を供給し、患者さんの命を守っています。輸血用血液製剤の種類別・血液型別の過不足の調整、Rh(-)の血液型及びまれな血液型への対応について供給に支障をきたさないように調整しております。



①血液製剤の受注
24時間体制で医療機関から受注をしております。



②血液製剤の出庫・外観確認
血液製剤に異常がないか最終チェックをします。



③梱包作業
納品伝票と血液製剤の製造番号等の確認と血液製剤ごとに製品温度に適した状態で梱包します。



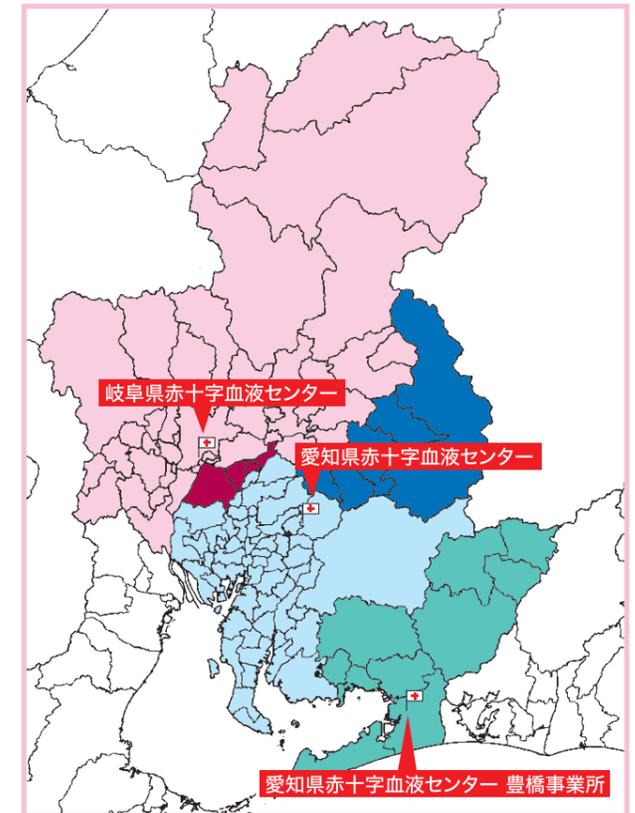
④配送
医療機関から「緊急」の要請があれば緊急走行で運びます。
平成30年度
緊急走行回数 **1,641**回(1日平均4回)

□ 広域需給体制に伴う県境を越える供給

Supplying across prefectural boundaries due to wide-area supply and demand regime

平成24年4月1日より広域事業運営へ移行し、東海北陸ブロック血液センターが設置されました。それに伴い、供給エリア設定の検討調査を行い、平成25年4月1日より西尾張地域の一部(一宮市・江南市・扶桑町・犬山市北部)を岐阜県赤十字血液センターから、東濃地域(多治見市・土岐市・瑞浪市・恵那市・中津川市)を愛知県赤十字血液センターから、供給を行うことに変更しました。これにより、対象地域の医療機関への血液製剤配送時間の短縮が可能となりました。

- 供給エリア
- 愛知県赤十字血液センター
 - 岐阜県赤十字血液センター
 - 愛知県赤十字血液センター 豊橋事業所



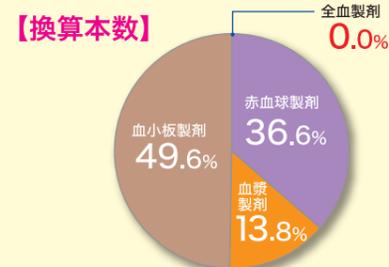
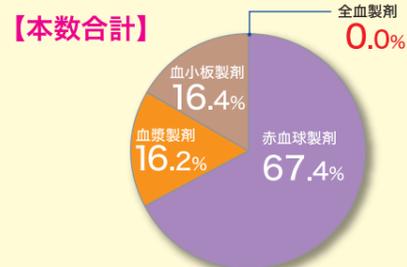
□ 平成30年度 供給実績 Supply results

◆愛知県内の供給実績

【供給エリア】

	1単位製剤	2単位製剤	成分					本数合計	換算本数 (単位:200mL換算)
			4単位	5単位	10単位	15単位	20単位		
赤血球製剤	8,895	161,125	-	-	-	-	-	170,020	331,145
血漿製剤	865	17,708	22,259	-	-	-	-	40,832	125,317
血小板製剤	0	3	-	1,285	33,930	4,049	2,166	41,433	449,786
合計	9,760	178,836	22,259	1,285	33,930	4,049	2,166	252,285	906,248

(単位:本)

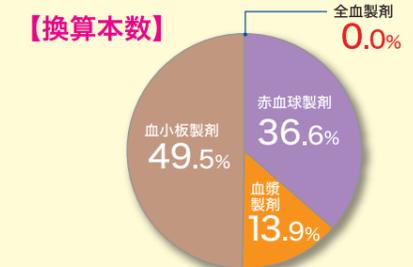
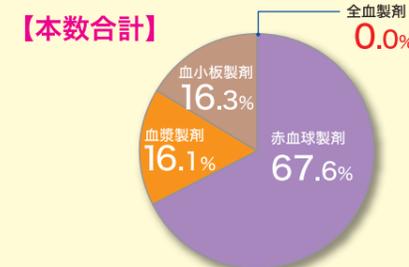


◆愛知県赤十字血液センターからの供給実績

【供給エリア】

	1単位製剤	2単位製剤	成分					本数合計	換算本数 (単位:200mL換算)
			4単位	5単位	10単位	15単位	20単位		
赤血球製剤	8,127	154,166	-	-	-	-	-	162,293	316,459
血漿製剤	874	16,119	21,759	-	-	-	-	38,752	120,148
血小板製剤	0	3	-	1,245	31,714	4,099	2,181	39,242	428,476
合計	9,001	170,288	21,759	1,245	31,714	4,099	2,181	240,287	865,083

(単位:本)



・他センターへの需給調整本数は含まない。
・血小板製剤は規格により、1単位、2単位、5単位、10単位、15単位、20単位として換算したもの。
・単位換算数:赤血球製剤は200mL献血由来を1単位、400mL献血由来を2単位として換算したもの。
・本年度の全血製剤の供給はありませんでした。

血漿製剤は200mL献血由来を1単位、400mL献血由来を2単位、成分献血由来を4単位として換算したもの。

Outline

□ 平成30年度医薬情報活動 Pharmaceutical information activities

(1) 医療機関への情報提供

輸血用血液製剤に関する情報提供について、下表のとおり情報媒体を愛知県赤十字血液センター供給エリア内の医療機関へ配付しました。
また、輸血管理部門担当者や医師・看護師等を対象とした説明会を行い、情報提供しました。

お知らせ

発行年月	内 容
平成30年 9月	新鮮凍結血漿の融解後使用期限延長のお知らせ-新鮮凍結血漿の添付文書改訂及び製剤ラベル変更について-
平成31年 3月	改訂添付文書及び新製剤ラベルを使用した新鮮凍結血漿の供給開始のお知らせ

輸血情報

発行年月	内 容
平成30年 4月	輸血用血液製剤の安全対策の導入効果と輸血によるHBV、HCV及びHIV感染のリスク
平成30年 5月	「血液製剤の使用指針・新生児・小児に対する輸血療法」の改定について
平成30年 7月	輸血用血液製剤との関連性が高いと考えられた感染症症例-2017年-
平成30年 7月	赤十字血液センターに報告された非溶血性輸血副作用-2017年-
平成30年10月	新鮮凍結血漿(FFP)の融解方法について
平成30年10月	輸血用血液製剤の取り扱いについて
平成30年12月	輸血による細菌感染について

(2) 輸血副作用の情報収集

33施設74件(安全性情報 8施設14件)

(3) 遡及調査の実施

複数回献血者の感染症マーカーの陽転化 57件 献血後情報 21件

(4) 中小医療機関の輸血検査への支援

医療機関に日本赤十字社 東海北陸ブロック血液センターの技術職員を派遣し、医療機関が日頃使用されている試薬・資材や機器を用いた方法による検査を提案させていただき、問題解決に役立てていただくことを目的とした、輸血検査スキルアップ講習を実施しました。

開催年月日	内 容	医療機関
平成30年10月10日	ABO血液型/Rh血液型/不規則抗体検査	土岐市立総合病院
平成31年 1月12日	ABO血液型/Rh血液型/抗原表の見方/直接抗グロブリン試験/異常時の対応	東濃厚生病院

(5) 輸血業務担当者連絡会の開催

開催年月日	内 容
平成30年 7月21日 (第1回)	「輸血業務担当技師とコメディカルとの連携について」 「日本赤十字社 東海北陸ブロック血液センターにおける感染症検査について」 「平成29年度愛知県合同輸血療法委員会の活動について」 「日本赤十字社 東海北陸ブロック血液センター 製造部門からの情報提供」
平成30年12月22日 (第2回)	「医療機関と血液センター供給課におけるアサーティブコミュニケーションについて」 「新鮮凍結血漿融解後使用期限延長について」 「輸血による細菌感染について」 「依頼検査にて自己抗体保有と回答した患者の臨床成績調査について」 「日本赤十字社 東海北陸ブロック血液センター 製造部門からの情報提供」

(6) 医療機関での説明会の実施

- ・血液製剤の取り扱い/輸血副作用/輸血過誤について…… 47回
- ・自己血輸血について…… 7回
- ・輸血用血液製剤の安全対策について…… 2回
- ・輸血副作用について…… 3回

□ 骨髄バンク事業 Marrow Donor Program

骨髄バンク事業は、国(=厚生労働省)主導のもと、日本骨髄バンクが主体となり、日本赤十字社および地方自治体の協力により行われている公的事業です。日本骨髄バンクは骨髄移植・末梢血幹細胞移植のコーディネート等を行い、日本赤十字社は造血幹細胞提供支援機関として、ドナー登録及びHLA検査等を行っています。都道府県・保健所を設置する市・特別区は保健所を窓口として協力体制をとっています。



・平成28～30年度 骨髄バンク登録者数

平成28年度	平成29年度	平成30年度	合計
1,298	1,338	1,894	4,530

・平成30年度 施設別骨髄バンク登録者数

愛知県赤十字血液センター	栄献血ルーム	岡崎献血ルーム	大須献血ルーム	献血ルーム タワーズ20	献血ルーム ゲートタワー26	豊田献血ルーム	豊橋事業所	移動採血バス	保健所	合計
53	223	94	179	406	280	91	71	460	37	1,894

・骨髄提供希望者登録状況

愛知県 20,917人(平成31年3月31日現在)

愛知県の骨髄ドナー登録受付施設

(平成31年3月31日現在)

名 称	電話番号	受付時間
愛知県赤十字血液センター	0561-85-2037	月～金(祝日・12/29～1/3を除く) 9:00～11:00、13:30～16:00
愛知県赤十字血液センター-豊橋事業所	0532-32-1331	月～土(祝日・12/29～1/3を除く) 9:00～11:00、13:30～16:00
献血ルーム タワーズ20	052-571-1002	年中無休(12/29～1/3を除く) 10:00～17:00
献血ルーム ゲートタワー26	052-589-2229	年中無休(12/29～1/3を除く) 11:00～18:00
栄献血ルーム	052-242-7030	年中無休(12/29～1/3を除く) 10:00～17:00
大須万松寺献血ルーム	052-251-7161	年中無休(12/29～1/3を除く) 11:00～12:00、14:30～18:00
豊田献血ルーム	0565-35-4480	水～月(12/29～1/3を除く) 10:00～12:00、14:30～17:00
岡崎献血ルーム	0564-52-1800	土～木(12/29～1/3を除く) 10:00～12:00、14:30～17:00
一宮保健所	0586-72-0321	水 10:00～11:00(予約制) (祝日、12/29～1/3を除く)
春日井保健所	0568-31-2189	火 9:00～11:00(予約制) (祝日、12/29～1/3を除く)
半田保健所	0569-21-3342	水 13:00～15:00(予約制) (祝日、12/29～1/3を除く)
衣浦東部保健所	0566-21-4778	火 9:00～11:00(予約制) (祝日、12/29～1/3を除く)
豊川保健所	0533-86-3177	火 9:00～11:00(予約制) (祝日、12/29～1/3を除く)

Outline

ひとりでも多くの方に、献血が身近になるように。

血液センターでは、広く献血にご協力いただくこと、血液事業について多くの人にご理解いただくことを目的に、さまざまな広報活動を展開しています。

☐ 広報活動 Public Relations



公式ホームページの開設

血液センターのさまざまな情報を、ホームページを利用してお知らせしています。献血会場のご案内をはじめ、キャンペーンのお知らせや血液についての知識など、充実した内容で情報発信を行っています。携帯電話、スマートフォンからもアクセスが可能で、手軽に知りたい情報をいつでも入手できます。ぜひ一度ご覧ください。

■ ホームページアドレス
<https://www.bs.jrc.or.jp/tkhr/aichi/>



公式SNSの開設

フェイスブック、Twitter、ゲートタワー26専用LINEを利用して、キャンペーンやイベントのお知らせをはじめ、献血に関する様々な情報を積極的かつリアルタイムにお伝えします。



■ 公式ページアドレス
<https://www.facebook.com/aichi.kenketsu>

LINE@ はじめました!

献血ルーム
GateTower26



つながる♥つなげる
献血スタイル
 つくりませんか?自分だけの「献血の日」



キャンペーンイベントの開催

歌や演奏、クイズなど楽しいステージイベントを通して広く皆様に対して、献血の普及啓発を行っています。献血者が減少する時期にあわせて、年に数回開催。学生ボランティアが中心となって運営を行い、献血を盛り上げます。



夏休み親子血液教室

愛知県との共催で「親子で学ぶ 夏休み親子血液教室」を開催しています。血液についての講義や血液センターの見学、希望者を対象に血液型の判定を行います。親子で献血の必要性を学ぶとともに、いのちや健康の大切さ、助け合いの大切さについて考える内容となっています。



血液センター見学会

献血に対する知識と理解を深めていただくため、血液センター内の見学会を実施しています。この見学会では、実際に製剤や検査の様子を見ていただき、献血された血液が輸血用血液に至るまでの工程を、わかりやすく説明しています。毎年、多くの方がご来訪され、好評をいただいています。見学会は予約が必要です。



血液・献血セミナー

小学校から大学、専門学校までの生徒・学生の皆様に献血のことを知ってもらい、身近に感じてもらうため、職員を派遣して「血液・献血セミナー」を行っています。講義やDVD鑑賞で、血液のこと、献血のことを学んでいただくとともに、いのちの大切さ、助け合うことの大切さを考える内容となっています。



見学や血液・献血セミナーのお問い合わせ・お申込みは、総務課までお尋ねください。

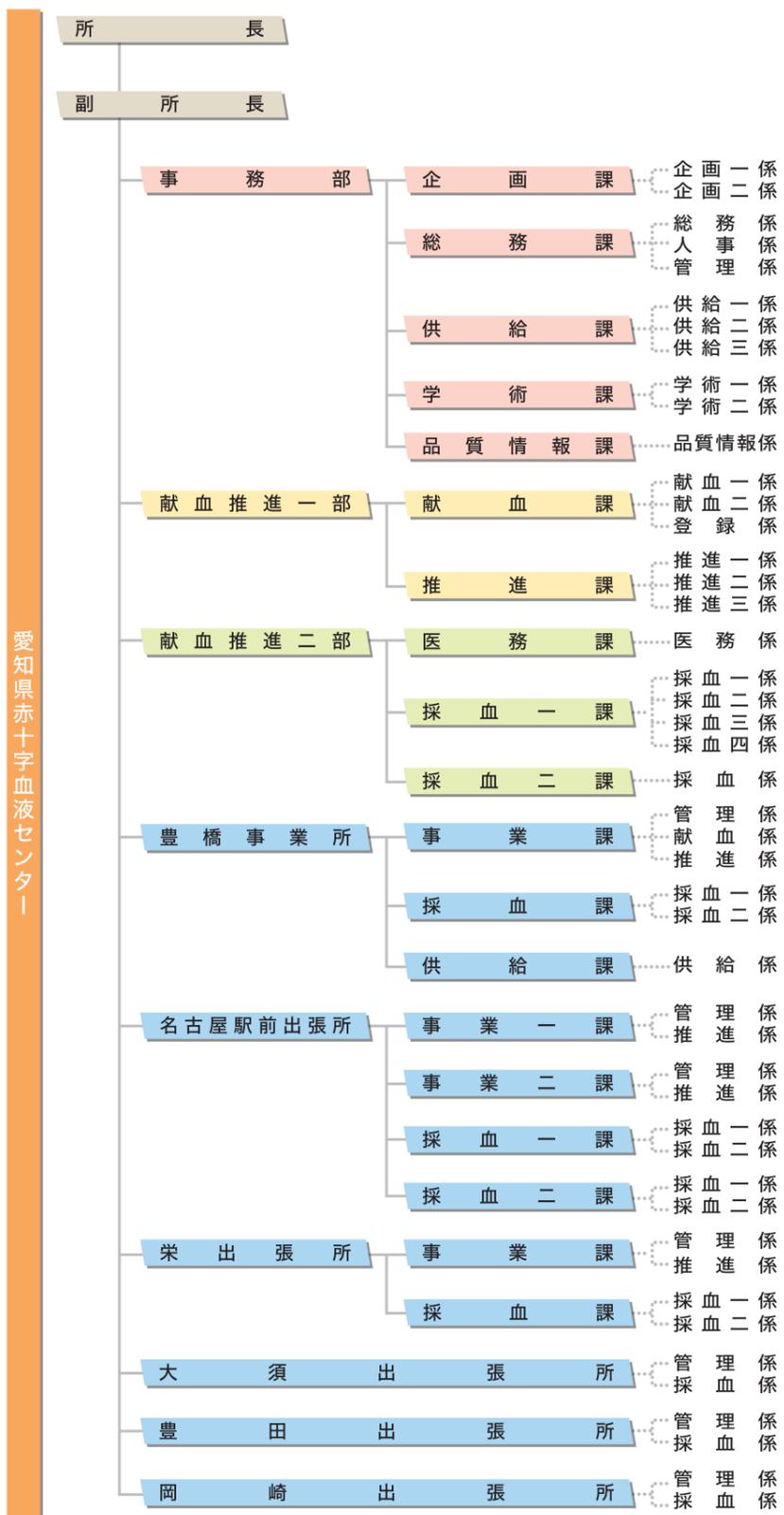
■ 愛知県赤十字血液センター総務課
 TEL 0561-85-4283(直通) [平日9時~17時]

Organization

組織

血液事業をより円滑に推進するためには、その体制づくりが重要なポイントになります。血液事業に直接関係する体制や施設・設備を充実するとともに、それをサポートする間接部門も重要視し、組織としての総合的な力を発揮しながら血液事業の現在と将来を常にみつめています。

組織機構図 Organization Chart (平成31年3月31日現在)

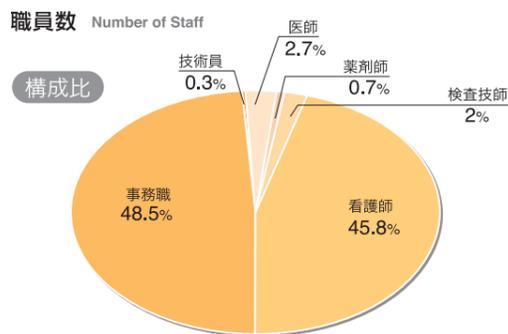


愛知県赤十字血液センター

愛知県赤十字血液センター Japanese Red Cross Aichi Blood Center (平成31年3月31日現在)

施設 Facility

- 所在地 瀬戸市南山口町539番地3
- 敷地面積 63,594.57m²
- 建物 (本館・北館) 構造/鉄筋コンクリート一部鉄骨造 地上4階・塔屋1階 延面積/9,783.21m²
- 附属建物 大型車庫、合併処理槽機械室



職種	医師	薬剤師	検査技師	看護師	事務職	技術員	計
人員	8	2	6	133	141	1	291
構成比 <%>	2.7	0.7	2.0	45.8	48.5	0.3	100

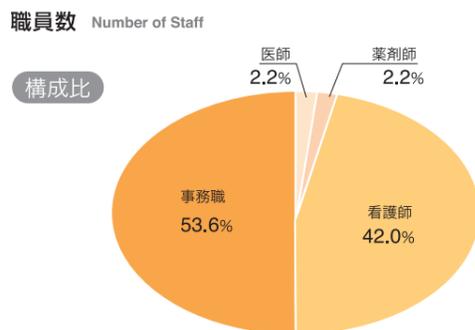
車両台数 Number of Vehicle

献血バス	検診車	送迎車	広報車	献血運搬車	器材運搬車等	乗用車	計
8	3	3	3	30	1	12	60

愛知県赤十字血液センター 豊橋事業所 Japanese Red Cross Aichi Blood Center Toyohashi Branch (平成31年3月31日現在)

施設 Facility

- 所在地 豊橋市東脇三丁目4番地1
- 敷地面積 3,014.07m²
- 建物 構造/鉄筋コンクリート造 地上3階・塔屋1階 延面積/1,694.00m²
- 附属建物 車庫



職種	医師	薬剤師	看護師	事務職	計
人員	1	1	19	24	45
構成比 <%>	2.2	2.2	42.0	53.6	100

車両台数 Number of Vehicle

献血バス	検診車	送迎車	献血運搬車	乗用車	計
3	1	0	5	3	12

Actual result

活動実績

時代の変化とともに、血液事業も変化しています。献血協力や医療機関のニーズに対応した活動を展開し、新しい歴史を積み重ねています。

新たな歴史を積み重ねて着実な歩み続ける。

昭和37年の開設以来、輸血を必要とする患者さんのため時代とともに、着実な歩み続けています。

沿革 History

愛知の動き	全国の動き
<p>1960</p> <p>昭和37.10 名古屋第一赤十字病院内に愛知県赤十字血液銀行を開設 昭和39.12 愛知県赤十字血液センターと名称を改める 昭和41.6 採血出張所を開設(豊橋・岡崎・一宮・半田・瀬戸) 昭和43.1 東海北陸7県(富山県・石川県・福井県・長野県・岐阜県・愛知県・三重県)の調整センターとして保存血液の需給調整を開始 昭和43.11 豊橋採血出張所を廃止し、愛知県赤十字血液センターの支所として新社屋を建設(豊橋市橋良町)、愛知県豊橋赤十字血液センターを開設、業務開始 愛知県Rh(-)友の会を結成 昭和44.8</p> <p>1970</p> <p>昭和45.4 血液低比重者の諸検査開始 昭和46.3 日赤愛知県支部との合同庁舎(名古屋市中区三の丸)に移転、業務開始 昭和46.4 支所として運営されてきた愛知県豊橋赤十字血液センターが豊橋赤十字血液センターとして独立 昭和47.3 県内の預血業務が全廃され献血一本化となる 昭和48.4 名古屋市内及び尾張部について輸血用血液の直配開始 昭和49.4 血液代金自己負担金給付制度実施 昭和52.4 一宮出張所を廃止し、移動採血車の定期巡回場所に改める 昭和54.4 採血が瓶採血からビニールバック採血に切替る 昭和54.11 開設以来、献血者150万人達成</p> <p>1980</p> <p>昭和57.2 分室を中区丸の内三丁目5番地10号住友商事丸ノ内ビル9階に新設 昭和57.4 全国一斉に献血手帳の様式一部改正(供給欄削除) 献血者全員に血液型及び生化学検査結果の通知を開始 昭和57.6 半田出張所を廃止し、移動採血車の定期巡回場所に改める 昭和59.4 東海北陸7県(富山県・石川県・福井県・長野県・岐阜県・静岡県・愛知県)の基幹センターとして輸血用血液の需給調整及び技術指導開始 事務所棟増築完成(豊橋赤十字血液センター) 昭和61.3 名古屋市中区錦三丁目22番14号(マルニビル5階)に栄出張所(献血ルーム)を開設 愛知県学生献血連盟発足 昭和61.10 東三河地域に血小板等の特殊血液のみ直配実施 昭和62.1 名古屋市熱田区一番に白鳥出張所(献血車基地)を開設 昭和62.3 瀬戸市南山口町に社屋新築移転、業務開始(愛知県赤十字血液センター) 昭和62.4 名古屋市中区三の丸旧社屋に三の丸出張所(献血ルーム)を開設 昭和62.8 西三河部への輸血用血液の直配開始 昭和62.9 第11回日本血液事業学会総会を愛知県勤労会館で開催 昭和63.7 輸血用血液の全面直配開始(豊橋赤十字血液センター) 昭和63.10 名古屋市千種区星が丘元町1502番地(第一星ヶ丘ビル2階)に星ヶ丘出張所(献血ルーム)を開設 平成 1.1 愛知県内の献血者延500万人達成</p> <p>1990</p> <p>平成 2.3 豊橋市東脇に社屋新築移転、業務開始(豊橋赤十字血液センター) 平成 2.6 名古屋市中区栄三丁目15番地33号(栄ガスビル9階)に栄出張所(献血ルーム)を移転開設 平成 3.3 岡崎市康生通西2丁目20番地(シビコ5階)に岡崎出張所(献血ルーム)を開設 平成 3.12 血液センター組織に地方骨髄データセンター設置 平成 4.6 名古屋市中村区名駅四丁目26番地7号(名駅UFビル5階)に名古屋駅前出張所(献血ルーム)を開設 平成 4.11 赤血球M・A・P「日赤」の調整供給開始(愛知県赤十字血液センター) 平成 5.4 赤血球M・A・P「日赤」の調整供給開始(豊橋赤十字血液センター) 平成 5.10 三の丸出張所を名古屋市中区白壁一丁目50番地(愛知県白壁庁舎内)に白壁出張所(献血ルーム)として移転開設 平成 6.1 自己血輸血協力開始 平成 6.3 愛知県内血液センター需給計画委員会設置 平成 6.4 輸血用血液への放射線照射協力開始(愛知県赤十字血液センター) 平成 6.9 輸血用血液への放射線照射協力開始(豊橋赤十字血液センター) 平成 7.3 第43回日本輸血学会総会を名古屋国際会議場で開催 平成 8.10 白壁出張所の検査部門を愛知県赤十字血液センターに集約 平成 9.4 東海北陸8県(富山県・石川県・福井県・長野県・岐阜県・静岡県・愛知県・三重県)の基幹センターとして、輸血用血液の需給調整及び技術指導開始豊田市若宮町一丁目57番地1(A館 T-FACE9階)に豊田出張所(献血ルーム)を開設</p>	<p>昭和27.4 日本赤十字社血液銀行東京業務所開設 昭和31.6 「採血及び供血あっせん業取締法」公布 昭和35.8 「業事法」公布 昭和39.8 「献血の推進について」閣議決定 昭和44 民間商業血液銀行の買血による輸血用血液の供給中止 昭和49 民間商業血液銀行が預血制度廃止(献血100%体制確立) 昭和50 日本民間放送連盟主催「第1回はたちの献血」キャンペーン開始 昭和58.6 日本赤十字社血漿分画事業開始 昭和61.4 「採血及び供血あっせん業取締法」一部改正に伴う新採血基準採用(400mL、成分採血導入) 昭和61 HIV抗体検査及びHTLV-I抗体検査を開始 平成1 HbC抗体、HCV抗体検査開始 平成2 民間製薬会社による有償採血中止 平成 4.1 赤血球M・A・P「日赤」の製造承認許可 平成 5.8 「自己血輸血協力要綱」作成 平成 7.4 献血表彰制度の一部改正と献血換算回数変更 平成 7.7 統一した献血申込書及び問診票導入</p>

愛知の動き	全国の動き
<p>1990</p> <p>平成 9.7 白壁出張所の供給部門を愛知県赤十字血液センターに集約 平成 9.10 白壁出張所の製造部門を愛知県赤十字血液センターに集約 平成11.4 県内血液センター一体運営開始。これに伴い、豊橋赤十字血液センターを愛知県豊橋赤十字血液センターに改称し、検査業務を愛知センターに集約刈谷市南桜町一丁目73番地(OTAビル4階)に刈谷出張所(献血ルーム)を開設 平成11.8 名古屋市熱田区金山町1-202(東和ビル[メガネプラザビル]7階)に金山出張所(献血ルーム)を開設 平成11.11 愛知県赤十字血液センター北館完成</p> <p>2000</p> <p>平成12.3 愛知県赤十字血液センター本館増改築工事成 平成13.2 名古屋市中村区名駅三丁目28番地12号(大名古屋ビルヂング3階)に名古屋駅前出張所(大名古屋ビル献血ルーム)を移転開設 平成13.9 第25回日本血液事業学会総会を名古屋国際会議場で開催 平成15.2 愛知県内の献血者延1,000万人達成 平成15.3 星ヶ丘出張所(献血ルーム)閉所 平成15.5 岡崎市明大寺町寺東1-1(名鉄東岡崎駅南館5階)に岡崎出張所(献血ルーム)を移転開設 平成16.6 第二次全国統一システム稼働 平成17.1 新鮮凍結血漿貯留保管用冷凍室完成 平成17.6 愛知県赤十字血液センター献血推進本部設置 平成17.10 白鳥出張所(献血バス基地)を閉所し、愛知県赤十字血液センターに移動採血部門を集約 愛知県豊橋赤十字血液センターの製造部門を愛知県赤十字血液センターに集約 平成18.3 複数回献血クラブ「四季桜の会」の設立 平成18.9 白壁出張所(献血ルーム)の閉所 平成18.10 名古屋市中区大須三丁目30-40(大須万松寺ビル1階)に大須出張所(献血ルーム)を開設 岐阜県赤十字血液センターとの検査業務集約 成分採血(血小板)の初流血除去開始 平成19.2 全血採血の初流血除去開始 静岡県赤十字血液センターとの検査業務集約 三重県赤十字血液センターとの検査業務集約 平成19.5 成分採血(血漿)の初流血除去開始 平成20.1 岐阜県赤十字血液センターとの製剤業務集約 平成20.6 製剤ラベルの変更 平成21.4 三重県赤十字血液センターとの製剤業務集約 平成21.11 第33回日本血液事業学会総会(第20回国際輸血学会アジア部会併設)を名古屋国際会議場で開催 平成22.5 第58回日本輸血・細胞治療学会総会を名古屋国際会議場で開催 平成23.10 JRセントラルタワーズ20階に名古屋駅前出張所を移転開設 平成23.11 愛知県赤十字血液センター製造棟完成 平成24.3 静岡県赤十字血液センターとの製剤業務集約 平成24.4 広域事業運営体制開始 製造棟施設が東海北陸ブロック血液センターとして業務開始 愛知県豊橋赤十字血液センターを愛知県赤十字血液センター豊橋出張所に改める 平成25.4 県境を越える供給エリアの変更開始(岐阜県東濃地域⇄愛知県西尾張地域) 平成26.4 豊橋出張所を豊橋事業所に改める 平成26.7 第50回献血運動推進全国大会を愛知芸術文化センターで開催 平成29.4 金山出張所と刈谷出張所の閉所 JRゲートタワー26階に名古屋駅前出張所を拡張</p>	<p>平成10.6 放射線照射輸血用血液が国に認可され供給開始 平成11.4 血小板成分献血を除き、献血年齢の上限が満64歳から満69歳に引上げ 平成11.5 献血者情報の全国一元管理システムが稼働 平成11.10 HTLV-I抗体検査結果が異常な場合、希望者への通知を開始。これに伴い献血申込書の内容一部変更 核酸増幅検査(NAT)実施の輸血用血液を供給開始 平成14.4 HCV抗体陽性者への通知基準の変更 平成14.7 業事法及び採血及び供血あっせん業取締法の一部を改正する法律の公布 「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」(新血液法)公布 平成14.8 有償採血の禁止 平成15.7 「業事法」の一部改正及び「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」(新血液法)施行 平成16.1 安全対策に対する日本赤十字社の取組み(8項目) 平成16.10 献血受付時の本人確認実施開始 日本赤十字社血液事業本部設置 平成17.4 改正業事法施行 平成17.6 問診による欧州渡航歴の献血制限開始 平成17.7 6か月以上貯留保管した新鮮凍結血漿「日赤」(FFP)の供給開始 平成18.3 タッチパネル方式による問診回答方式の導入 成分採血由来新鮮凍結血漿保存前白血球除去製剤製造開始 平成18.8 人免疫グロブリン製剤「日赤ポリグロビン」販売開始 平成18.9 成分採血由来新鮮凍結血漿保存前白血球除去製剤出庫開始 平成18.10 献血手帳の磁気カード化開始 平成19.1 全血採血由来保存前白血球除去製剤製造開始 平成19.8 全血採血由来保存前白血球除去血漿製剤供給開始 平成19.11 血小板製剤の有効期間(採血後4日間)変更 平成20.7 初流血除去を実施した成分採血由来製剤新鮮凍結血漿「日赤」(FFP-5)の供給開始 平成21.3 糖尿病関連の検査(グリコアルブミン検査)開始 平成21.10 血漿分画製剤の販売名、包装表示等の変更 平成22.1 英国滞在歴に関する献血制限の緩和 平成22.2 販売名変更代替新規承認品目濃厚血小板-LR「日赤」、濃厚血小板HLA-LR「日赤」、照射濃厚血小板-LR「日赤」、照射濃厚血小板HLA-LR「日赤」の製造・供給開始。 新鮮凍結血漿-LR「日赤」の製造開始。 平成22.12 血液型、生化学検査及び血球計数検査成績の通知対象者の拡充 平成23.4 採血基準の改正(男性に限り400mL献血が可能な方の年齢の下限を、「18歳」から「17歳」に引き下げ。男性に限り血小板成分献血が可能な方の年齢の上限を、「54歳」から「69歳」に引き上げ。 平成26.6 血液事業情報システム導入 平成26.8 特殊製剤国内自給向上対策事業の実施 個別核酸増幅検査(NAT)の導入 平成28.4 ALT検査による製品除外基準の変更 平成28.9 照射洗浄血小板-LR「日赤」、照射洗浄血小板HLA-LR「日赤」の供給開始 平成29.9 新鮮凍結血漿の融解後使用期限延長</p>

Actual result

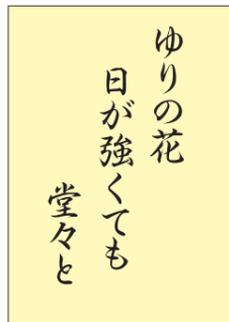
幅広い活動で献血協力を呼びかける。

平成30年度に行った主な活動内容です。献血協力を呼びかけるキャンペーン活動から血液事業を啓発する活動まで幅広く展開し、血液の確保に向けて広く呼びかけを行いました。

平成30年度日誌 Diary



第13回「赤十字・いのちと献血」俳句コンテスト



受賞者：幸田町立南部中学校 正留 謙様

愛知赤十字血液センター 所長賞

3月18日～4月19日
スプリング献血キャンペーン
9日～13日
ゲートタワー26 1周年記念祭
April

6月1日 いのちの授業[愛知産業大学工業高等学校]
6月 「世界献血者デー」キャンペーン
6月19日～10月31日 第13回「赤十字・いのちと献血」俳句コンテスト

June

19日 サマー献血キャンペーン<愛知県学生献血連盟>
[名古屋港水族館JETTY] 献血実績:83名
7日 リリモツアーズ
8～10日 官庁街献血(愛知県庁 西庁舎駐車場) 献血実績:422名
8,16,17,22,23日 夏休み親子血液教室 [武豊・豊橋・瀬戸]
26日 サマー献血キャンペーン豊橋<愛知県学生献血連盟 豊橋支部>
[イオン豊橋南店] 献血実績:80名



サマー献血キャンペーン



10代夏の献血キャンペーン



夏休み親子血液教室

12～3月 複数回献血キャンペーン 第2弾
28日 広げよう、献血の輪! Give blood. Save life. けんけつ&チア!!
16日 クリスマス献血キャンペーン
<愛知県学生献血連盟>[栄広場] 献血実績:115名
23日 クリスマス献血キャンペーン豊橋
<愛知県学生献血連盟 豊橋支部>
[イオン豊川店]献血実績:62名

December

10日 学生スプリング献血キャンペーン
<愛知県学生献血連盟> [栄広場] 献血実績:76名
25日 春休み親子教室(岡崎市内小学生対象)

March



春休み親子教室(岡崎市内小学生対象)



卒業献血キャンペーン

19日 リリモウォーキング

May

20日 愛知県献血運動推進大会
7月 「愛の血液助け合い運動」月間
7月2日～9月14日 献血ポスターコンペティション
7月～11月 複数回献血キャンペーン 第1弾
7月～9月 10代夏の献血キャンペーン

July



愛知県献血運動推進大会



400mL複数回献血キャンペーン



第7回 献血ポスターコンペティション



7月「愛の血液助け合い運動」月間 月刊ポスター



献血ポスターコンペティション 愛知県赤十字血液センター所長賞 受賞者:本田 真実様

1日～30日 愛西市献血推進協議会
ポスターコンクール入選作品展
1日～30日 オータムキャンペーン

November

1月～3月 卒業献血キャンペーン
1月～2月 はたちの献血キャンペーン
6日 はたちの献血キャンペーンイベント
[エアポートウォーク名古屋] 献血実績:74名
7～9日 官庁街献血(愛知県庁 西庁舎駐車場)
献血実績:448名

January

16～21日 岡崎献血ルーム開設15周年
ありがとうキャンペーン

February

1

2

3



広げよう、献血の輪! Give blood. Save life. けんけつ&チア!!



はたちの献血キャンペーンイベント

Actual result

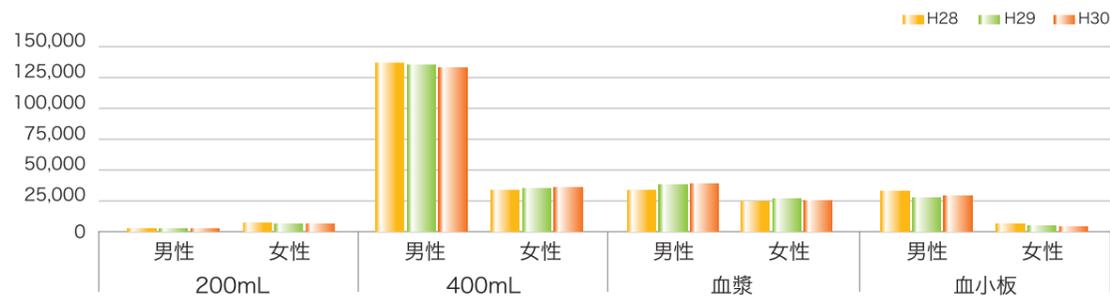
統計資料 Statistical Data

献血種別の推移 Blood donation type of transition

3年間で男女種別別の献血者数の推移

	200mL		400mL		血漿		血小板		合計	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
平成30年度	1,714	5,869	132,430	35,642	38,280	24,554	28,494	3,828	200,918	69,893
平成29年度	1,657	5,986	134,305	34,900	37,747	26,214	27,246	4,169	200,955	71,269
平成28年度	1,715	6,360	135,582	33,308	33,216	24,068	31,951	5,719	202,464	69,455

(人)

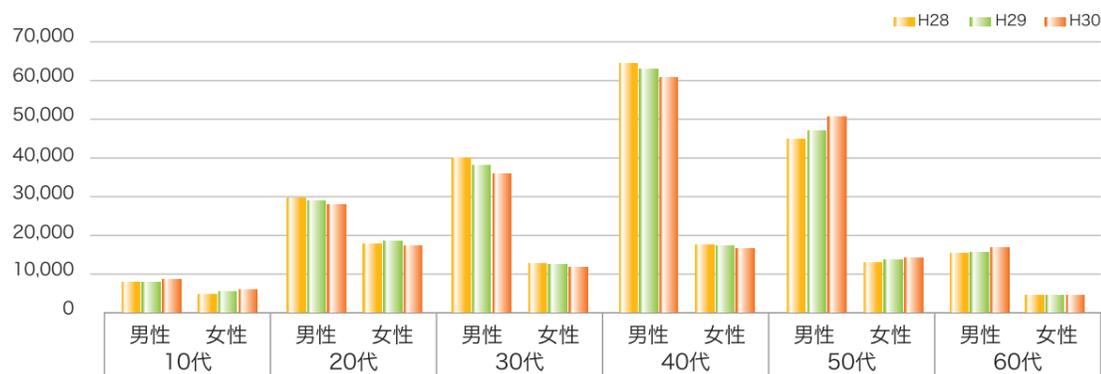


性別及び年代別 Transition by age

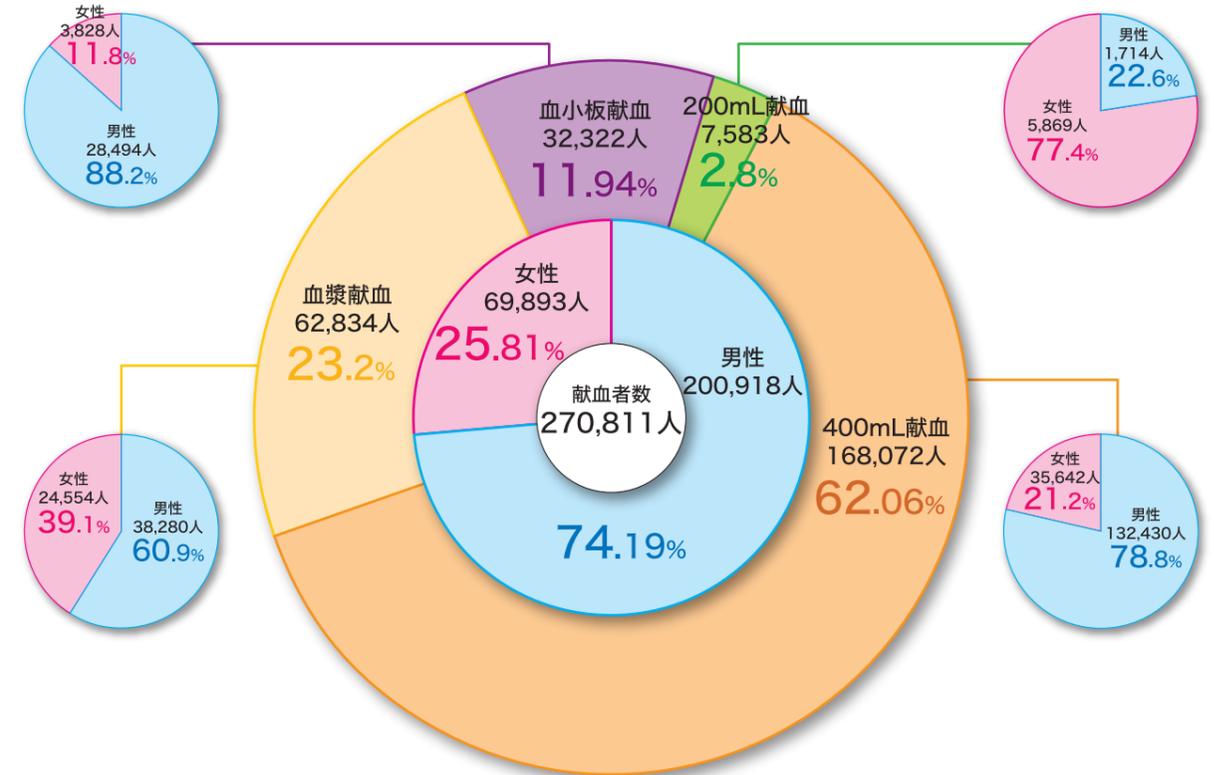
3年間で男女年代別の献血者数の推移

	10代		20代		30代		40代		50代		60代		合計	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
平成30年度	8,444	5,820	28,043	17,361	35,898	11,569	60,941	16,566	50,733	14,103	16,859	4,474	200,918	69,893
平成29年度	7,895	5,318	28,984	18,376	38,125	12,329	63,187	17,321	47,115	13,567	15,649	4,358	200,955	71,269
平成28年度	7,739	4,616	29,789	17,641	40,018	12,583	64,744	17,440	44,914	12,793	15,260	4,382	202,464	69,455

(人)



献血種別献血者数 Blood donation type number of blood donors

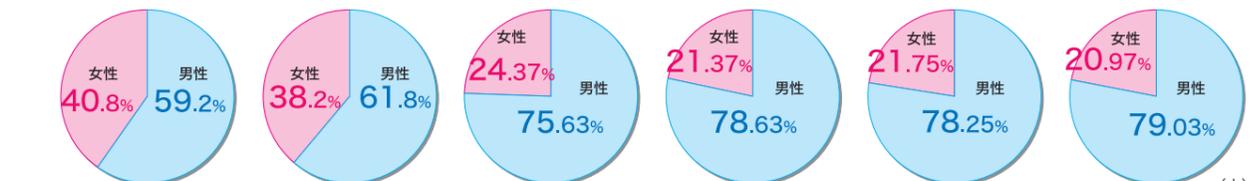


年代別献血者数 Number of blood donors by age



(人)

性別	10代		20代		30代		40代		50代		60代	
	200mL	400mL	200mL	400mL	200mL	400mL	200mL	400mL	200mL	400mL	200mL	400mL
男性	1,017	6,464	194	20,984	104	24,574	171	39,409	154	31,524	74	9,475
女性	664	299	4,214	2,651	6,506	4,714	11,774	9,587	10,951	8,104	4,171	3,139
合計	8,444	28,043	28,043	35,898	60,941	60,941	50,733	50,733	16,859	16,859	16,859	16,859



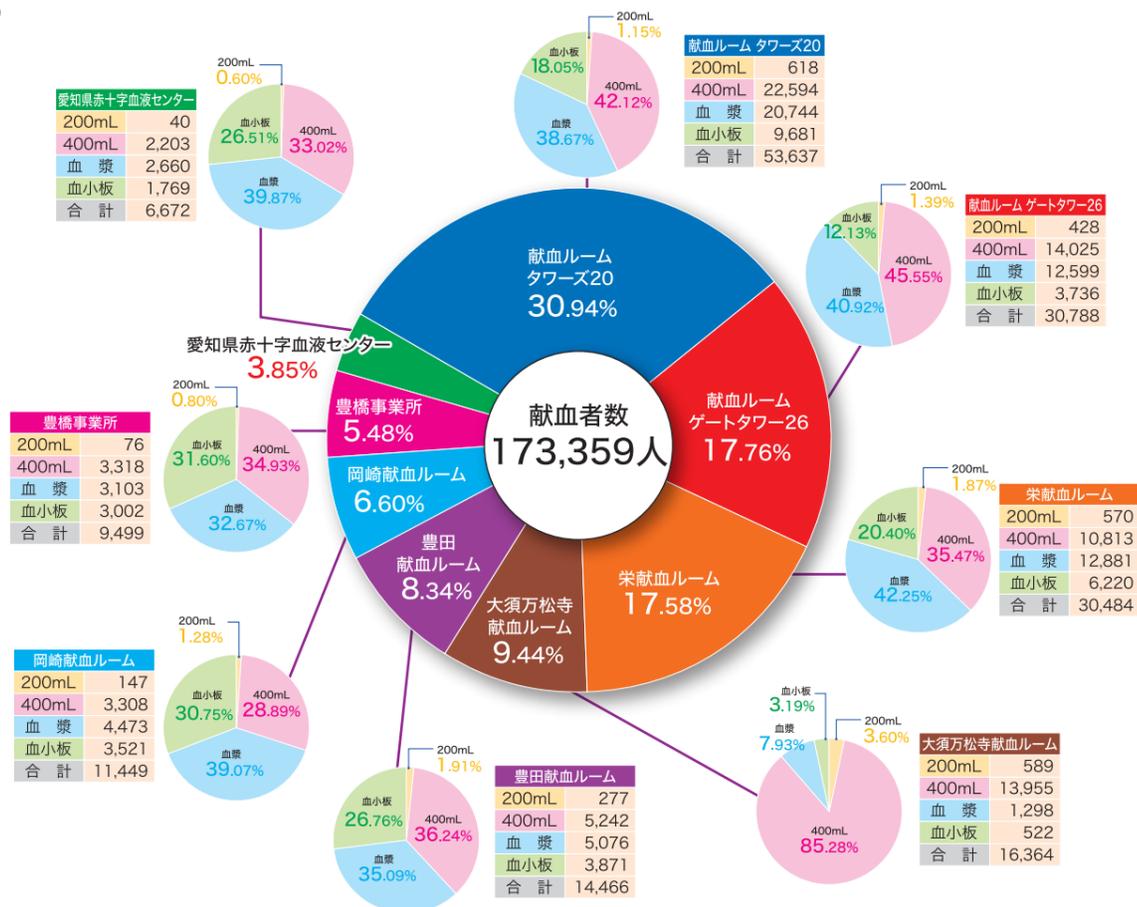
(人)

性別	10代		20代		30代		40代		50代		60代	
	200mL	400mL	200mL	400mL	200mL	400mL	200mL	400mL	200mL	400mL	200mL	400mL
女性	2,270	2,261	1,364	8,529	624	5,649	893	9,099	592	7,786	126	2,318
男性	1,208	81	6,687	781	4,381	915	5,208	1,366	5,040	685	2,030	0
合計	5,820	17,361	11,569	16,566	14,103	4,474	4,474	4,474	4,474	4,474	4,474	4,474

Actual result

献血ルーム別献血者数 Number of blood donors by blood donation room

(人)

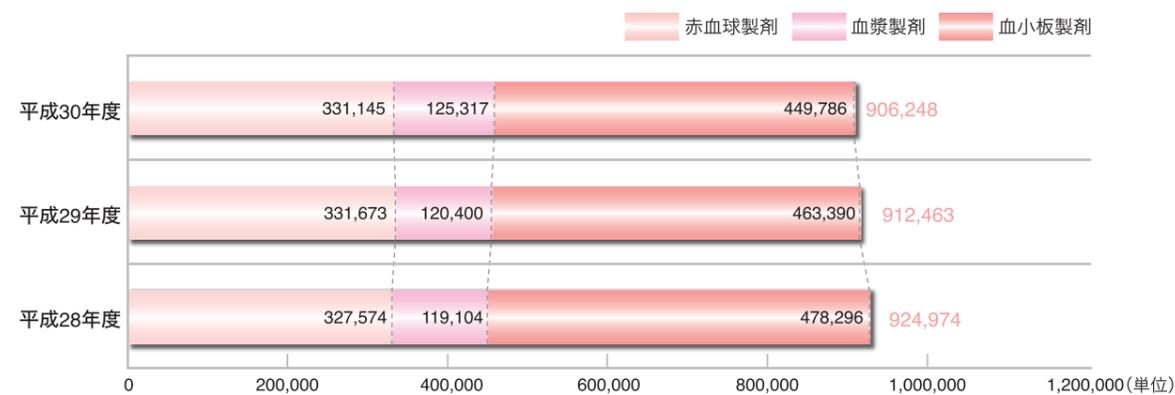


供給状況 Supply of Blood Products

■ 供給単位の推移(愛知県)

	赤血球製剤	血漿製剤	血小板製剤	合計
平成30年度	331,145	125,317	449,786	906,248
平成29年度	331,673	120,400	460,390	912,463
平成28年度	327,574	119,104	478,296	924,974

(単位)



■ 月別供給本数(愛知県)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
赤血球製剤	26,622	28,449	26,391	28,164	27,354	25,960	28,936	27,352	28,533	29,165	26,233	27,986	331,145
血漿製剤	10,881	10,553	9,863	10,861	10,965	9,802	10,979	10,189	10,388	11,603	8,700	10,533	125,317
血小板製剤	35,002	37,510	36,500	37,907	38,530	36,305	38,010	37,145	38,335	38,865	36,250	39,427	449,786
合計	72,505	76,512	72,754	76,932	76,849	72,067	77,925	74,686	77,256	79,633	71,183	77,946	906,248

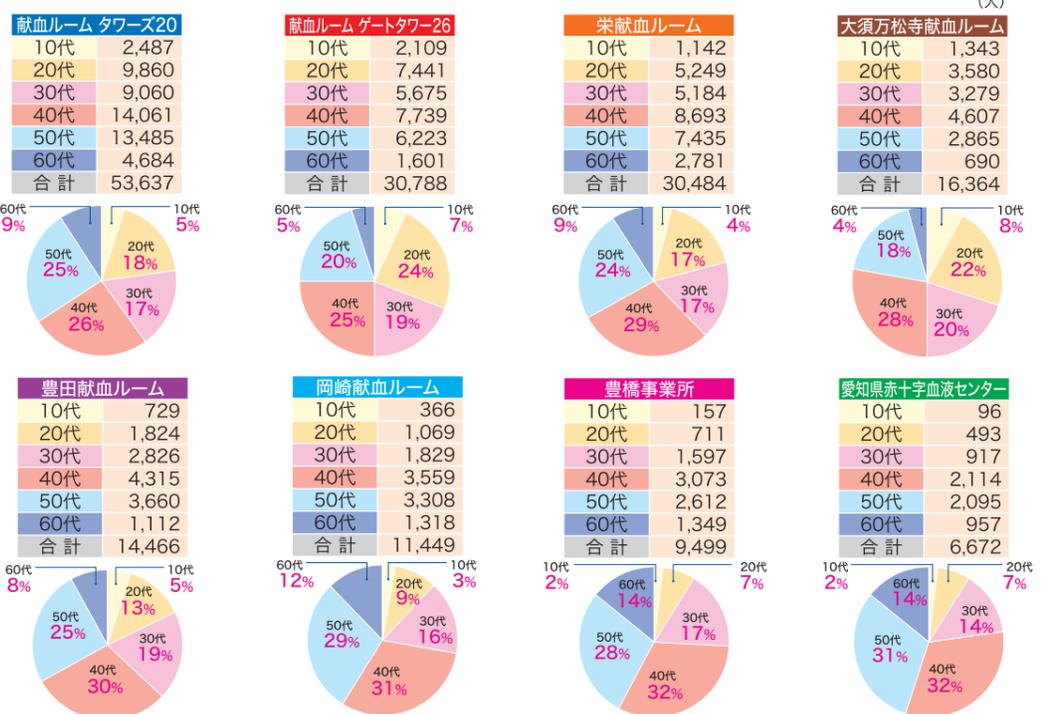
(単位)



- ・本年度の全血製剤の供給はありませんでした。
- ・他センターへの需給調整本数は含みません。
- ・単位換算数: 赤血球製剤は200mL献血由来を1単位、400mL献血由来を2単位として換算したもの。
血漿製剤は200mL献血由来を1単位、400mL献血由来を2単位、成分献血由来を4単位として換算したもの。
血小板製剤は規格により、1単位、2単位、5単位、10単位、15単位、20単位として換算したもの。
- ・血漿製剤の換算方法は平成29年度から変更したため、平成28年度も現在の基準で数値が変更されています。

献血ルーム別年代別献血者数 Number of blood donors by age

(人)



Actual result

血液事業に多くの功績があった個人・団体を表彰。

毎年献血に多大なご協力をいただいた皆様に感謝の気持ちを込めて表彰を行っています。
平成30年度も多くの個人・団体の皆様にご協力をいただき功労表彰を授与させていただきました。
血液事業は、こうした多くの方々に支えられています。

献血功労表彰 Recognition

厚生労働大臣表彰状

3団体

- 愛知県自動車販売店協会
- オークマ株式会社
- 住友ゴム工業株式会社 名古屋工場

厚生労働大臣感謝状

11団体

- 愛知医科大学医大祭実行委員会
- 愛知県理容生活衛生同業組合 守山理容献血会
- 学校法人 愛知江南学園 誠信高等学校
- 学校法人 名鉄学園 名鉄自動車専門学校
- 株式会社デンソープレステック
- 株式会社豊田中央研究所
- 豊橋北ライオンズクラブ
- 名古屋瑞穂ライオンズクラブ
- 名古屋みなとライオンズクラブ
- 藤田保健衛生大学看護専門学校
- フタムラ化学株式会社 名古屋工場

愛知県知事感謝状

○300回献血者 25名

○献血協力団体 19団体

- アイシン精機株式会社 半田電子工場
- 愛知県中央信用組合
- 岡崎信用金庫
- 株式会社岡島パイプ製作所
- 株式会社 首藤鐵工所
- 株式会社 名古屋精密金型
- 株式会社 ニッセイ
- 株式会社 LIXIL 大谷工場
- 株式会社 LIXIL 常滑東工場 東浦製造
- 献血グループ aboの集い
- ジャニス工業株式会社
- 住友林業株式会社 豊橋支店 安全協力施工店会
- 全日本ロータス同友会 愛知県支部
- 大和ハウス工業株式会社 岡崎支社
- 中部遊技機商業協同組合
- 東芝ライフスタイル株式会社 愛知事業所
- 中日本高速道路株式会社 名古屋支社
- 日本赤十字豊田看護大学 いとすぎ祭実行委員
- 日本福祉大学(美浜キャンパス) 学生一同

○献血功労団体 6団体

- ユニー株式会社 アビタ阿久比店
- ユニー株式会社 アビタ大府店
- ユニー株式会社 ギャラリーエアビタ知立店
- ユニー株式会社 ビアゴ阿久比北店
- 額田ライオンズクラブ
- リソラ大府ショッピングテラス

日本赤十字社表彰

○日本赤十字社社長感謝状(30年以上) 31団体

- 愛三工業株式会社
- 愛知県心身障害者コロニー
- 愛知電機労働組合
- 愛知日野自動車株式会社
- あいち三河農業協同組合
- 旭有機材株式会社
- オーエスジー株式会社 豊橋工場
- 株式会社 今仙電機製作所
- 株式会社杉浦製作所
- 株式会社 東海理化
- 株式会社ホウトク
- 株式会社三ツ知春日井
- 航空自衛隊小牧基地
- 榊原精器株式会社
- 三工機器株式会社
- 三友工業株式会社
- 敷島製パン株式会社犬山工場
- 社会医療法人 明陽会 成田記念病院
- 住友理工株式会社
- 全東レ労働組合連合会 東レ労働組合愛知支部
- 大学共同利用機関法人 自然科学研究機構
- 知立市献血推進協議会
- 東洋紡株式会社 犬山工場
- 豊田市職員献血会
- 名古屋ライオンズクラブ
- 名古屋市中央卸売市場 北部市場協会
- 日本クロージャー株式会社 小牧工場
- 日本バンダー整備株式会社
- パナソニックデバイスSUNX株式会社
- フタバ産業株式会社 高橋工場
- ミツ星ベルト株式会社名古屋工場

○金色有功章(献血100回以上) 336名

○金色有功章(20年以上) 44団体

- 愛知県立総合看護専門学校
- 愛知県中古自動車販売商工組合
- 愛知スズキ販売株式会社
- 愛知精工株式会社
- 愛知日産自動車株式会社
- いすゞ自動車中部株式会社
- 株式会社カーク
- 株式会社スズキ自販中部
- 株式会社東海理機製作所
- 株式会社 東郷製作所
- 株式会社トーエネック 岡崎営業所
- 株式会社ホンダカーズ愛知
- 北愛知三菱自動車販売株式会社
- 県立愛知看護専門学校
- 国家公務員共済組合連合会 東海病院
- シャープ名古屋ビル
- 中央発條株式会社 藤岡工場
- 中部三菱自動車販売株式会社
- トヨタL&F中部株式会社
- トヨタカローラ愛知株式会社
- トヨタカローラ愛豊株式会社
- トヨタカローラ中京株式会社
- トヨタカローラ名古屋株式会社
- トヨタ部品愛知共販株式会社
- 名古屋スバル自動車株式会社
- 名古屋ダイハツ株式会社
- 日産サービスセンター株式会社中部支社
- 日産プリンス名古屋販売株式会社
- ネットヨタ愛知株式会社
- ネットヨタ中京株式会社
- ネットヨタ中部株式会社
- ネットヨタ東海株式会社
- ネットヨタ名古屋株式会社
- ネットヨタ東名古屋株式会社
- 三菱ふそうトラック・バス株式会社
- 名鉄自動車整備株式会社 一宮支店
- UDトラック株式会社 中部支社
- 犬山ライオンズクラブ
- 春日井中央ライオンズクラブ
- 春日井ライオンズクラブ

- 江南ライオンズクラブ
- トヨタ生活協同組合 本店事業部
- 東山動植物園
- ユニー株式会社 ビアゴ妙興寺店

○銀色有功章(献血70回以上) 445名

○銀色有功章(15年以上) 16団体

- 株式会社近藤組
- 株式会社中村精機音羽製作所
- 株式会社 ホンダ小牧
- 株式会社村上製作所
- 株式会社ヤナセ 名古屋営業本部
- 新東工業株式会社 大治事業所
- 新東工業株式会社 西春事業所
- 真如苑 中京本部
- 名古屋電機工業株式会社
- 日産部品東海販売株式会社
- 林テレンプ株式会社
- 富士特殊紙業株式会社
- 碧海信用金庫 事務センター
- 宮西連区ソフトボール協議会
- 名南三菱自動車販売株式会社
- 公益財団法人名古屋産業振興公社

○支部長感謝状(金枠 10年以上) 21団体

- アイシン機工株式会社
- 株式会社旭工業所
- 株式会社コメットカトウ
- 株式会社 ジーエスエレクトック
- 株式会社日本アクセス 中部オフィス・名古屋支店
- 株式会社ホンダカーズ東海
- 株式会社 ホンダ名古屋
- 貴船ソフトボール協議会
- 公益社団法人 愛知県宅地建物取引業協会 名南西支部
- 三栄工業株式会社
- サンコール株式会社 豊田工場
- 東海マツダ販売株式会社
- 東建コーポレーション株式会社
- トヨタ自動車株式会社 田原寮地区寮生会
- トヨタ自動車株式会社 吉胡・滝頭寮地区寮生会
- ハートの日実行委員会
- フタバ産業株式会社 知立工場

- ホーユー株式会社 生産・物流本部
- アイ・モール三好
- 株式会社げんきの郷
- 西尾ニュータウン開発株式会社

○支部長感謝状(銀枠 5年以上) 18団体

- 愛知学院大学 AGUボランティアセンター
- 愛知県厚生農業協同組合連合会 安城更生病院
- 医療法人 知邑舎 岩倉病院
- NTPインポート株式会社
- 学校法人さくら学園 慈恵福祉保育専門学校
- 株式会社アーレスティ 東海工場
- 株式会社アーレスティ本社・テクニカルセンター
- 株式会社ATビジネス
- 株式会社シイエム・シイ
- 株式会社ホンダ販売名東
- 三河ダイハツ株式会社
- 三河日産自動車株式会社
- 名鉄バス株式会社 知立営業所
- モンテカルロオートスポーツクラブ
- 公益社団法人熱田法人会 有松支部
- 合同会社 西友 ザ・モール安城店
- はじめの一步(若年層に献血を勧める会)
- ユニー株式会社 アビタ岡崎北店

(順不同・敬称略)

Actual result

活動実績

□ 複数回献血クラブ「ラブラッド」 Multiple blood donation club

輸血を必要とされる患者の方々は、春夏秋冬の区別なく血液が必要となります。そのため、一年を通じて常に安全な血液を安定的に確保することが求められます。安定確保するために、複数回にわたり献血のご協力をいただける複数回献血クラブの会員が必要です。

平成30年10月29日から献血者へのサービス向上を目的として、愛称名を「ラブラッド」としました。全国の献血ルームにおいてWeb予約ができるほか、血液検査結果が献血後2～5日程度で確認できるようになりました。また、キャンペーン情報、次回献血可能日などのお知らせが届くほか、予約や献血への協力で貯めたポイントを記念品と交換することができます。さらに、会員サイト上で次回献血可能日を確認できるよう改修し、住所等の変更も行えるようになりました。



複数回献血クラブ
ラブラッド
Love Blood

愛知県赤十字血液センターの登録者数 83,355名(平成31年3月31日時点)

複数回献血クラブ「ラブラッド」会員限定イベント

複数回献血クラブ「ラブラッド」会員限定のイベントを定期的に行っております。

イベント実施内容

実施年月日	実施内容
平成30年 6月16日	献血セミナーと血液センター見学
平成30年 9月 8日	おうちイタリアンと講演会
平成31年 3月10日	救急法講習会



救急法講習会



おうちイタリアンと講演会



献血セミナーと血液センター見学



Blood Centers in Japan

全国の血液センター

血液センターは全国各都道府県にあります。また全国を7つに分けて各ブロックを形成し、センター間での供給や情報交換を行い、地域に根ざした活動を行っています。

血液製剤を安定してお届けするための全国のネットワーク。

日本赤十字社が血液事業を推進するために、全国に血液センターが整備されています。また各ブロックセンターでは、検査・製剤・需給管理部門の業務を行っています。

- 日本赤十字社 血液事業本部(1) (平成31年3月31日現在)
- 中央血液研究所(1)
- ブロック血液センター(7)
- 地域血液センター(47)

北海道ブロック ●北海道ブロック血液センター ●北海道	東海北陸ブロック ●東海北陸ブロック血液センター ●富山県・石川県・福井県・岐阜県・静岡県・愛知県・三重県	中四国ブロック ●中四国ブロック血液センター ●鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県・徳島県・香川県・愛媛県・高知県
東北ブロック ●東北ブロック血液センター ●青森県・岩手県・秋田県・山形県・福島県・宮城県	近畿ブロック ●近畿ブロック血液センター ●滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県	九州ブロック ●九州ブロック血液センター ●福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県
関東甲信越ブロック ●関東甲信越ブロック血液センター ●茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・新潟県・山梨県・長野県		



全国の血液センター

04 全国の血液センター